



業界レポート

自動車部品製造業界

株式会社CCイノベーション

令和4年9月

目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. 基礎知識
03. 業界の動向
04. 今後の焦点
05. CCIのソリューション

基礎知識

- 自動車部品製造業界は多数の部品・システムメーカーによりサプライチェーンを構成、なかでもエンジン関連部品は品目種類が多く、出荷額構成比がもっとも高い。
- 2020年度にはいり、世界的な半導体不足から自動車メーカーが減産し、本業界も影響を受けている。

業界の動向

- 2050年カーボンニュートラル実現をめざすグリーン成長戦略では、乗用車は2035年までに新車販売で電動車100%を目標としている。
- CASEの進展により付加価値は、ハード（車両本体）からソフト（サービスプラットフォーム）に移動していく。
- リコール届出件数は直近10年間において上昇基調、電子制御部品の不具合に関連する届出件数は近年増加傾向にある。

今後の焦点

- 自動車部品製造業界はガソリン車から電動車への部品需要移行により、事業転換を迫られる。
- 次世代自動車分野（インフラ、サービス含む）では、一層の安定性、耐久性、精度、小型化、軽量化などを実現する高い製造技術が求められる。

自動車部品製造業界とは

- 自動車部品製造業界は多数の部品・システムメーカーによりサプライチェーンが構成されており、特定メーカーとの長期的な取引関係を背景に、高品質、安定供給を実現している。



自動車部品品目別出荷額

品目別出荷額(324社分)

品目	出荷額 (百万円)	構成比	前年度比
エンジン部品	2,289,741	13.5%	94.2%
電装品・電子部品 (エンジン関係)	2,249,468	13.3%	100.1%
電装品・電子部品 (車体関係)	2,710,970	16.0%	86.0%
駆動・伝導及び操縦装置部品	3,550,720	21.0%	83.6%
懸架・制御装置部品	752,177	4.4%	96.8%
車体部品	3,924,441	23.2%	85.2%
用品	363,630	2.1%	88.1%
情報関連部品	630,330	3.7%	81.5%
電動車両用部品 (HV、FCV、EV)	453,966	2.7%	426.3%
合計	16,925,443	100.0%	90.3%

- エンジン関連部品は品目種類が多く、出荷額構成比がもっとも高い。
- 電動車両用部品 (HV、FCV、EV) は構成比は極めて小さいが、出荷額は前年度比4倍以上増加している。

出所：(一社)日本自動車部品工業会 2020年度自動車部品出荷動向調査結果

3. 業界の動向

電動化の影響

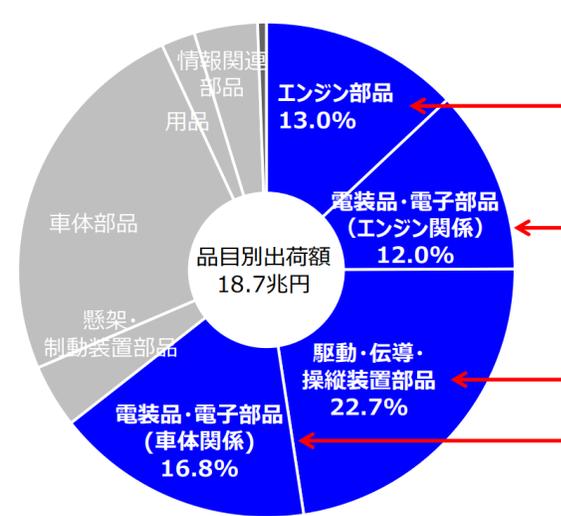
日本の次世代自動車の普及目標

<参考> 2019年新車乗用車販売台数：430万台

	2019年 (新車販売台数)	2030年
従来車	60.8% (261万台)	30~50%
次世代自動車	39.2% (169万台)	50~70%*
ハイブリッド自動車	34.2% (147万台)	30~40%
電気自動車 プラグイン・ハイブリッド自動車	0.49% (2.1万台) 0.41% (1.8万台)	20~30%
燃料電池自動車	0.02% (0.07万台)	~3%
クリーンディーゼル自動車	4.1% (17.5万台)	5~10%

*次世代自動車戦略2010「2010年4月次世代自動車研究会」における普及目標

自動車の電動化に移行した場合に 影響が大きい領域 ※内燃機関に関連した部品



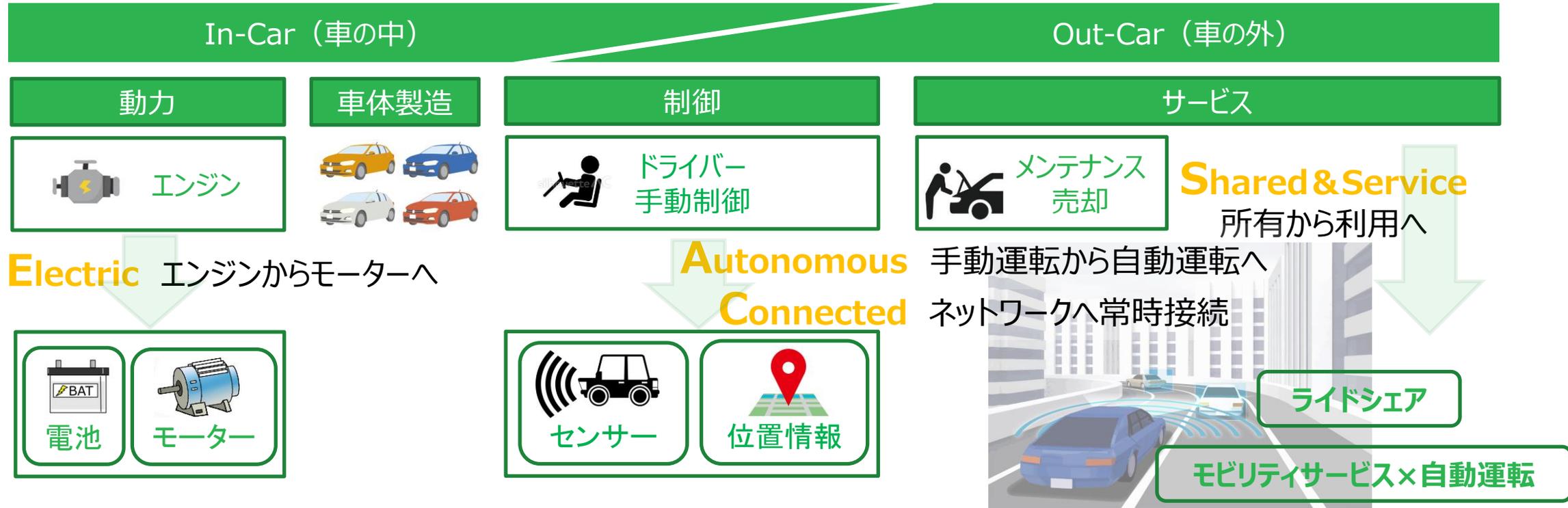
	自動車部品	出荷額 (億円)	構成比率
1	エンジン部品	24,303	13.0%
2	電装品・電子部品 (エンジン関係)	22,463	12.0%
3	駆動・伝導・ 操縦装置部品	42,469	22.7%
4	電装品・電子部品 (車体関係)	31,513	16.8%
5	懸架・制動装置部品	7,769	4.1%
6	車体部品	46,051	24.6%
7	用品	4,125	2.2%
8	情報関連部品	7,733	4.1%
9	電動車両用部品 (HV/FCV/EV)	1,065	0.6%
	合計	187,491	100%

出所：経産省 第4回カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会資料

- 電動化の流れが加速、2050年カーボンニュートラル実現をめざすグリーン成長戦略では、乗用車は2035年までに新車販売で電動車100%を目標としている。
- 自動車部品製造業界には**電動化に対応した事業転換**が求められる。

3. 業界の動向

CASEによるバリューの移動



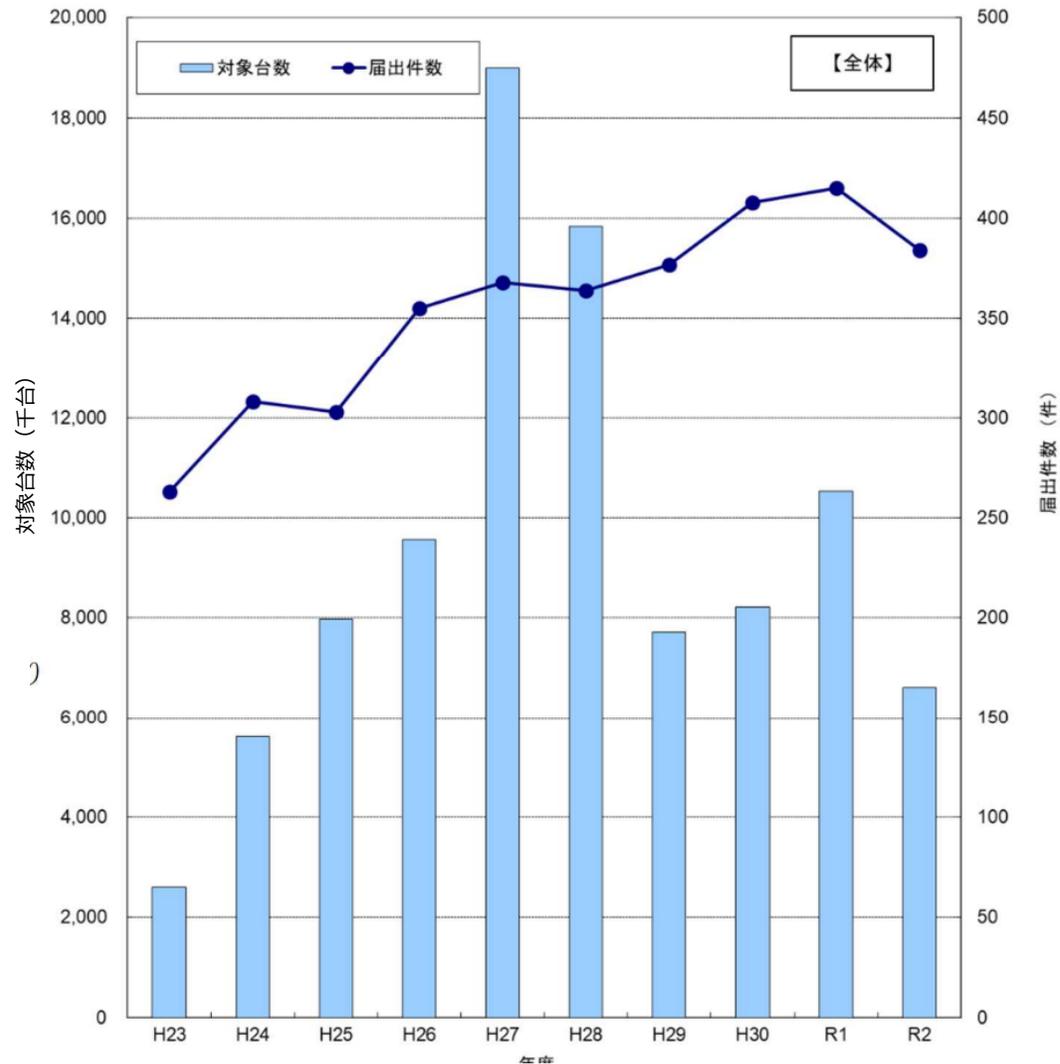
CASEの進展により付加価値は、ハード（車両本体）からソフト（サービスプラットフォーム）に移動していく

モビリティサービス・コネクティッドサービス



3. 業界の動向

自動車リコール届出件数



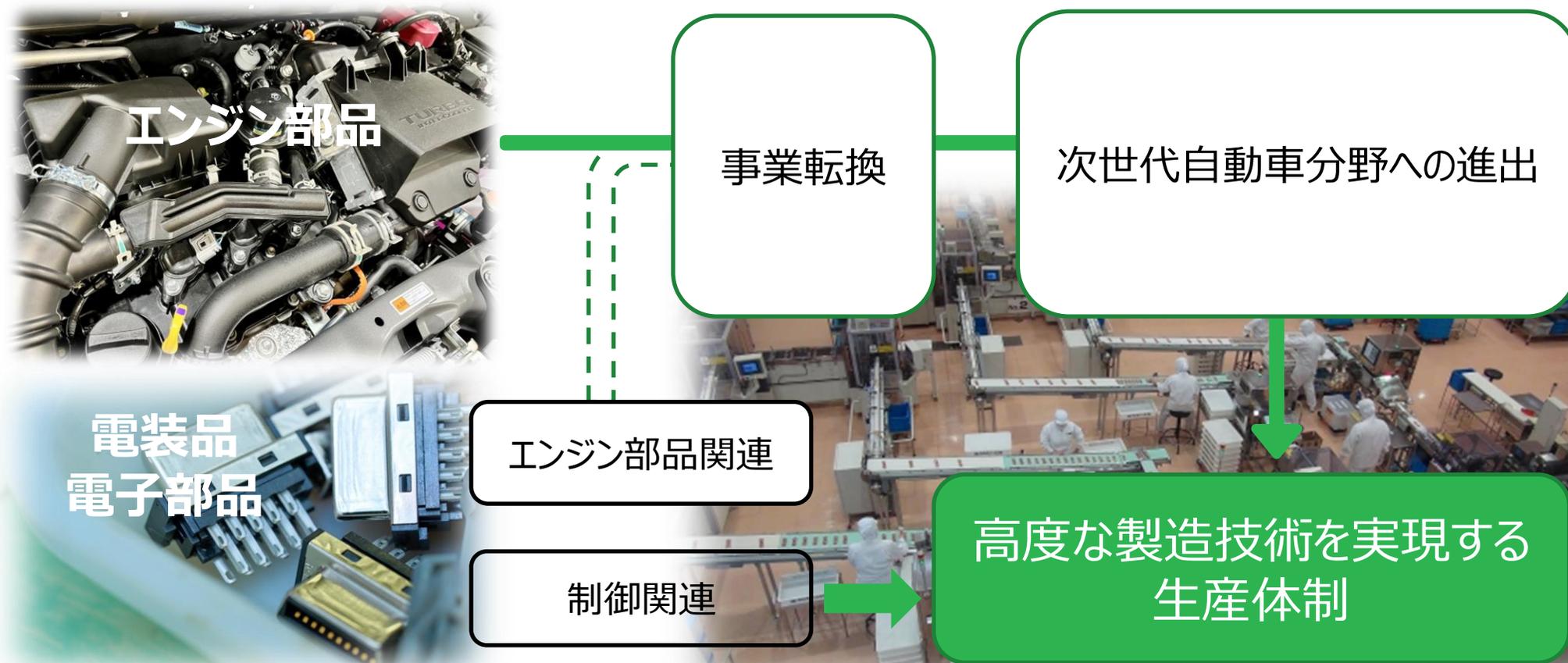
- リコール届出件数は直近10年間に於いて上昇基調
- 電子制御部品の不具合に関連する届出件数は近年増加傾向にある

※H27 タカタ製エアバッグに関するリコール対象台数：9,438千台

出所：国土交通省 令和2年度自動車のリコール届出内容の分析結果について

4. 今後の焦点

事業転換と技術革新

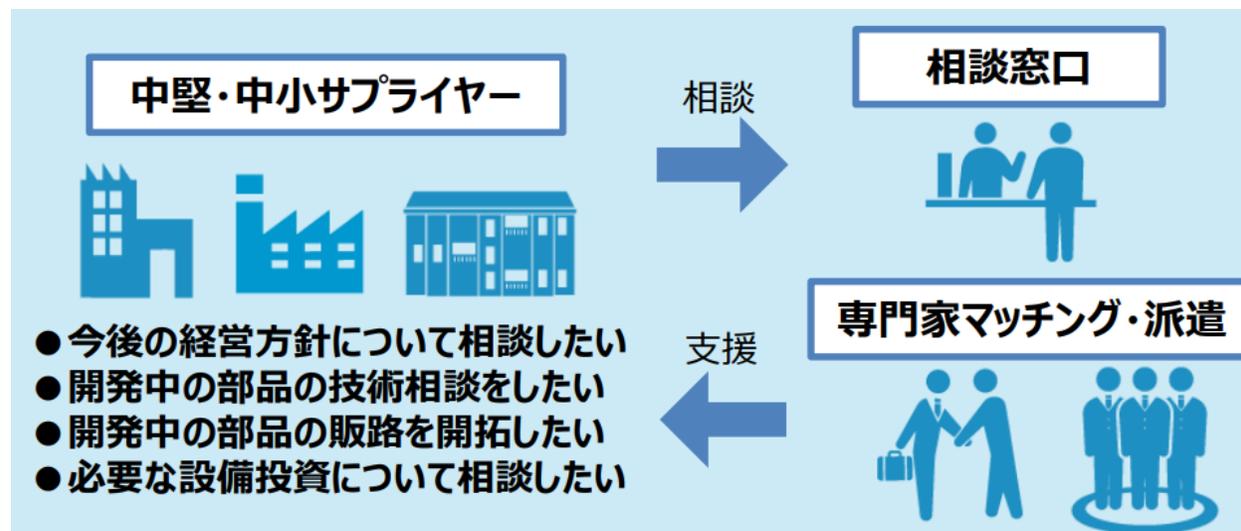


- 自動車部品製造業界はガソリン車から電動車への部品需要移行により、**事業転換**を迫られる
- 次世代自動車分野（インフラ、サービス含む）では、一層の安定性、耐久性、精度、小型化、軽量化などを
実現する**高い製造技術**が求められる

2. 今後の焦点

自動車部品サプライヤー事業転換支援事業とは

- グリーン成長戦略に掲げた、自動車のライフサイクル全体でのカーボンニュートラル化、2035年までに乗用車新車販売で電動車100%を目指すという政策目標実現のため、大きな影響を受けるサプライヤー（中堅・中小企業）の事業再構築を支援
- 具体的には、電動車、特に電気自動車（BEV）で不要になる部品（エンジン部品等）を製造するサプライヤーの電動車部品製造への挑戦や、軽量化技術をはじめ電動化による車両の変化に伴う技術適応など、サプライヤーの事業再構築等をサポート



出所：経済産業省製造産業局 令和4年度概算要求PR資料

5. CCIのソリューション

コンサルティングメニュー

経営戦略 <ul style="list-style-type: none"> 経営理念・ビジョン策定 経営計画の策定 個別施策の立案 	コストマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 原価管理体制の構築 物件費削減に関する助言 アウトソーシングの受託 	人材紹介 <ul style="list-style-type: none"> 最適な人材マッチング 独自のネットワーク 人材定着サポート
ビジネスマッチング <ul style="list-style-type: none"> 新たな販売・仕入先の紹介 新商品・新技術開発パートナー紹介 グループ会社コレゾの活用 	人事制度・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の策定 賃金制度の設計 階層別・専門別研修の実施 	
ICT <ul style="list-style-type: none"> システム導入・更改のサポート 独自アプリによる生産性向上 社内コミュニケーションの活性化 	業務効率化 <ul style="list-style-type: none"> BPR企画・立案 クラウド会計を活用した事務効率化 各種業務のマニュアル化 	
海外展開 <ul style="list-style-type: none"> 海外販路の開拓 海外拠点の設立に関する支援 貿易手続に関する助言 	M & A・事業承継 <ul style="list-style-type: none"> 企業の売却・買収のコーディネート 企業価値算定に関する助言 経営の承継に向けた社内体制整備 	



業 務 提 携 機 関

- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。